

課題番号	LS022
------	-------

**先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム)  
実施状況報告書(平成 23 年度)**

本様式の内容は一般に公表されます

研究課題名	日本の高年初産婦に特化した子育て支援ガイドラインの開発
研究機関・ 部局・職名	千葉大学・大学院看護学研究科・教授
氏名	森 恵美

1. 当該年度の研究目的

本研究の最終目的は、高年初産婦(35歳以上の初産婦)に特化した産後1ヶ月までの子育て支援ガイドラインの開発である。そのため、産後4ヶ月間における産後の生活活動と身体的心理社会的健康状態に関する縦断研究【研究1】、産後1年間にわたる褥婦の身体的心理社会的健康状態に関するコホート調査研究【研究2】、日本の後年初産婦の子育て支援ニーズの明確化とアクションリサーチ【研究3】を順番に実施し推進する。本年度は【研究1】の推進と【研究2】の準備を目的に研究を行った。【研究1】の研究目的は、高年初産婦の産後4ヶ月間における産後の生活活動と身体的心理的健康状態、母親役割獲得過程との関係を検討して、高年初産婦の子育て支援ニーズについて考察することである。

2. 研究の実施状況

上記の【研究1】の研究目的を達成するために、35歳以上の初産婦(高年群)20名程度と産後1か月までの量的データの比較群として20歳代初産婦20名程度を募集した。最終的に、高年群21名と比較群21名から協力が得られた。平成23年度までに高年群の2名以外の対象者から産後4か月までの研究データを得た。研究方法はMixed Methods Researchであり、高年群は、産後入院中、産褥1か月、2か月、4か月に質問紙調査と半構成的面接、生化学検査、生活活動測定を実施し、比較群は、産後入院中、産褥1か月に、質問紙調査と生化学検査を行った。具体的内容は、1)生活活動に関する簡単な質問紙と米国A.M.I社製のアクティグラフ装着(毎回、高年群のみ)、2)健康状態:褥婦の疲労と身体的症状、育児ストレス(PSI)、①疲労蓄積度自己診断チェックリスト:質問紙測定(毎回)、②尿中17KS値および尿中17OHCS値、唾液中CgA(ChromograninA)濃度の測定(入院中と産褥健診)、③腰痛、腱鞘炎など身体的症状や不定愁訴:半構成的面接法(毎回、高年群のみ)、④エジンバラ産後うつ病評価尺度(EPDS):質問紙測定(毎回)、⑤育児ストレス(PSI:Parenting Stress Inventory):質問紙測定(産後2か月以降、高年群のみ)、3)産褥早期の母親役割獲得過程の達成状況について:①出産からの母親役割獲得過程:半構成的面接法(毎回、高年群のみ)、②前原らの「母親役割の自信尺度・母親になることの満足感尺度」:質問紙測定(入院中と産後1か月)、4)基礎的データ:年齢、睡眠時間、母乳か人工乳か、授乳時間と回数、仕事の復帰などであった。量的データの分析は、産褥時期ごとでまとめて、時期による変化を統計的に検討している。質的データはケースごとに質的帰納的に分析している。今後、全てのケースを統合して全体分析を行い、母親役割獲得過程の特徴を見いだす。日常生活活動と母親役割獲得の困難性、健康状態との関係を分析する予定である。また、【研究1】の結果に基づき【研究2】の研究計画を立案した。

3. 研究発表等

雑誌論文 計0件	(掲載済み一査読有り) 計0件  (掲載済み一査読無し) 計0件  (未掲載) 計0件
会議発表 計4件	<b>専門家向け 計3件</b> 1)第 52 回日本母性衛生学会学術集会(国立京都国際会館)にて ワークショップ「高年初産婦の子育て支援を探る」を平成 23 年 9 月 30 日(金)開催 2)A literature Review of Factors Associated with Physical and Psychosocial Well-being in Japanese Postpartal Women, 15 <sup>th</sup> EAFONS, Singapore, 2011.2.23. 3)Changes in Postpartum Sleep Quality: A Descriptive Study among Japanese First-time Mothers over aged 35, 15 <sup>th</sup> EAFONS, Singapore, 2011.2.23. <b>一般向け 計1件</b> 1)第 31 回日本看護科学学会学術集会(高知城ホール)にて平成 23 年 12 月 3 日(土)開催 「最先端・次世代研究開発支援プログラム 国民との科学・技術対話 広がる看護職者の仕事」 高年齢で初めて出産した母親の子育て支援ニーズを探る～あなたの意見をお聞かせください～
図書 計0件	
産業財産権 出願・取得状 況 計0件	(取得済み) 計0件  (出願中) 計0件
Webページ (URL)	<a href="http://www.mamatasu.jp">http://www.mamatasu.jp</a>
国民との科学・技術対話の実施状況	第 31 回日本看護科学学会学術集会の開催中に、高知城ホールにて、国民との科学・技術対話を実施した。参加者の人数は、46 名であった。文献検討の結果を分かりやすく伝えたところ、高年初産婦の体験談、留学中に海外の高年初産婦の子育て状況の話などが意見として出され、本研究の意義や必要性を参加者に理解をしていただけたと考えている。
新聞・一般雑誌等掲載 計1件	医学新聞 『Medical Tribune』(メディカルトリビューン)2011 年 11 月 24 日号 (Vol.44,No.47)27 ページ
その他	

4. その他特記事項

実施状況報告書(平成23年度) 助成金の執行状況

本様式の内容は一般に公表されず

1. 助成金の受領状況(累計) (単位:円)

	①交付決定額	②既受領額 (前年度迄の累計)	③当該年度受領額	④(=①-②-③)未受領額	既返還額(前年度迄の累計)
直接経費	80,000,000	34,989,000	0	45,011,000	0
間接経費	24,000,000	10,496,700	0	13,503,300	0
合計	104,000,000	45,485,700	0	58,514,300	0

2. 当該年度の収支状況 (単位:円)

	①前年度未執行額	②当該年度受領額	③当該年度受取利息等額 (未収利息を除く)	④(=①+②+③)当該年度合計収入	⑤当該年度執行額	⑥(=④-⑤)当該年度未執行額	当該年度返還額
直接経費	32,838,290	0	0	32,838,290	19,750,728	13,087,562	0
間接経費	9,778,500	0	0	9,778,500	9,778,500	0	0
合計	42,616,790	0	0	42,616,790	29,529,228	13,087,562	0

3. 当該年度の執行額内訳 (単位:円)

	金額	備考
物品費	5,889,368	時計型アクティグラフ測定センサー、書籍等
旅費	1,735,350	研究成果発表旅費(JSMN、母性衛生、EAFONS等)
謝金・人件費等	8,434,620	研究員人件費、研究協力謝金等
その他	3,691,390	質問紙印刷代、質問紙郵送代、サイト製作費等
直接経費計	19,750,728	
間接経費計	9,778,500	
合計	29,529,228	

4. 当該年度の主な購入物品(1品又は1組若しくは1式の価格が50万円以上のもの)

物品名	仕様・型・性能等	数量	単価 (単位:円)	金額 (単位:円)	納入 年月日	設置研究機 関名